

あ い さ つ

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

会長 寺谷 正博

(静岡市立番町小学校長)

本年度は、研究テーマを「言語・聴覚・発達障害のある幼児・児童・生徒に対する指導実践を通して、支援のあり方を研修する」とし、指導の専門性を高めると共に教室運営についての研修を推進していく予定でありました。

しかし、ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染拡大により、年3回の定例研修会をはじめ、多くの事業において停止または開催形式の変更を余儀なくされました。各研修会の講師の方や分科会の提案者の方などには集合・対面式の開催ができなかったことについてお詫び申し上げると共に、紙上並びに録画等による講演や分科会提案をいただいたことに深く感謝申し上げます。

また、各定例研修会の企画・準備にあたっていただきました担当校をはじめとする地区の先生方には、ここまでのご尽力に加え紙上開催等の企画・編集をいただいたことに深く感謝申し上げます。

さて、次年度の研修会等の事業の実施については、現時点で新型コロナウイルス感染症収束の確実な見通しが持てず、すでに全国大会や東海四県大会については通常の形式では行わないことが決定されました。本県では、感染症拡大・収束の状況を見定めながら、定例研修会や地区講習会、各部会、要望活動について、「従来通りの集会形式」、「オンライン開催」、「紙上開催」など開催方法を工夫しながら、できる限り令和3年度の事業計画に基づいて活動していきたいと考えております。

また、会の運営や各事業の実施については、本年度の経験をもとに見直しを行い、「働き方改革の推進」を踏まえて、事業の精選や合理化・効率化を図ってまいります。

試行錯誤を重ねながらの令和3年度になろうかと思いますが、言語・聴覚・発達障害教育の一層の発展と指導者の資質向上を目指して新しい時代の本会の在り方を探ってまいりたいと思います。

最後になりましたが、会員の皆様の本会活動についての献身的なご尽力に感謝申し上げますと共に皆様方がご健康を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。